

思いを知る

9月14日失ば...ばかりで...高は...目わくをかける
 毎日 ぶる人のして...私わわがらなくなる...
 なさけなく自分かはが...高...目わわがら...
 ハンカチ...サイフ...15/2月長...つ...ありです
 アオゾラ...さんに行きますアオゾラ...リハビリ
 さいまばなにし...自分のした...わわがら...今この...です

↑
認知症の方ご本人が
自らの思いを
つづった手記

14年 8月 2日 7時 38分 かく
 朝から...下...の...んが...ん...
 ...ん...ん...の...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...
 ...ん...ん...ん...ん...ん...

出典：「妹になってしまった私の母さん—大丈夫、ねえちゃんが守ってあげるからね」（高玉多美子）
認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び地域で支えよう」
準拠パワーポイント資料（全国キャラバン・メイト連絡協議会）より

本人に「自覚はない」のか？

「認知症の本人には自覚がない」と考えている人がいます。しかし、認知症の症状に最初に気付くのが本人であることも少なくありません。度重なる物忘れや、今までできた作業がうまくできなくなるに連れて、「自分に何かが起こっている」という不安を感じるようになります。その後は、認知症への心配から抑うつ的になったり、逆に症状が出ていることを自分で受け入れられず、周囲に対してもうたがましい態度をとったりするようになります。

誰よりも本人が不安と戦っている

誰よりも本人が、一番つらく、苦しく、悲しい思いをしているのです。そして、そのやり場のない複雑な感情と認知症による障害が、やがて妄想や徘徊などにつながっていきます。

健康な人が、認知症の方の心の内を正確に理解することは困難です。しかし、時に不可解とも思える行動が、「脳の病気」を抱えた不安から自分の心を守るための表現であり、理由のあることだと知ることがとても大切です。

認知症が引き起こす行動・心理症状

元気がなくなり、うつ状態に

今までできたことができなくなったことで自信を失い、全てが面倒になってしまう。また、能力の低下を強く自覚することにより自らの将来への望みをなくし、うつ状態に陥ってしまう。さり気なく手助けしながら小さい成功体験を積み重ねることが有効。

もの盗られ妄想

大事な物をしまった場所を忘れ、「通帳がなくなった」などと言い出し、「自分が忘れるわけがない」という自尊心の強さや負い目などから「周りの人が盗んだ」と思いこんでしまう。探し物が出てくれば収まるので、頭ごなしに否定せず、冷静に対応することが大事。

